

新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

令和3年4月11日発行
東京都高等学校体育連盟
ソフトテニス女子専門部

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するため、東京都教育委員会・東京都高等学校体育連盟・（公財）日本スポーツ協会・（公財）日本ソフトテニス連盟から示されたガイドラインに基づき、留意点をまとめたものです。

【大会参加校・参加選手が遵守する事項】

- 1 発熱や風邪の症状、咳・痰・咽頭痛・強いだるさや倦怠感・息苦しさ・味覚、嗅覚に異常を感じる等の症状がある場合は、参加校の責任において当該生徒の参加を見合わせる。
 - 2 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を見合わせる。
 - 3 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、或いは14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された場合は参加を見合わせる。
- ※ 参加者に感染が判明した場合、参加者名簿を関係機関に公表することがあります。

【大会当日・会場での注意事項】

- 1 当日朝検温を行い、必要事項を記入したチェックリストを来場時に提出する。
- 2 試合中以外はマスクを常に着用する。予備のマスクも持参する。
- 3 感染症対策（マスク・手洗い・手指消毒・うがい・ソーシャルディスタンス等）を励行する。消毒用アルコール・手拭き用のタオル等は各自持参する。
- 4 咳エチケットを守る。
- 5 熱中症対策も十分にする。（こまめな水分・塩分・ミネラル等を補給する。）
- 6 大きな声での会話は控える。
- 7 更衣室を使用せずに試合が出来るように工夫する。やむを得ず更衣室を利用する際は、密にならないように注意し、換気に配慮する。使用は短時間（10分以内）に抑える。
- 8 会場での食事はできるだけ避ける。飲食する場合は、ソーシャルディスタンスに気を配り、同一方向で向き合わないようにし、食事中の会話は控える。
- 9 ゴミはすべて各自で持ち帰る。

【試合中の注意事項】

- 1 試合中には十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行うが、試合の前後ではマスクを着用する。
- 2 会場内ではソーシャルディスタンスに気を配り、他人との距離を 2m 確保する。
また、コート内においても出来るだけ他人との距離を 2m 確保する努力をするとともに、会話は対面で行わない。
- 3 トスを行う際はマスクをつけたまま行い、試合開始前・終了後の挨拶は、ネットから 1m 以上離れて行う。(試合終了後の選手間での握手は行わない。)
- 4 ペア間でのハイタッチや握手は行わない。
- 5 ラケット・タオル等はシェアせず、各自が用意する。
- 6 マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しをしない。
- 7 大会は無観客試合を原則とし、個人戦のベンチ入り指導者はおかない。団体戦の監督・ベンチにいる選手はマスクを着用し、声を出しての応援は控える。
(ソーシャルディスタンスにも気を配る)
- 8 試合の前後には手洗い・手指消毒をする。
- 9 審判は選手との距離を 2m 以上保つ。

【大会終了後の注意事項】

- 1 大会終了後 2 週間以内に大会参加者・関係者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、東京都高等学校体育連盟ソフトテニス女子専門部事務局に、速やかに報告する。
- 2 感染が判明した場合は、大会当日会場にいた参加校・役員・関係者へ連絡します。
その場合、大会後 2 週間の健康観察を求めることがあります。
- 3 感染者が発生したとしても、学校や選手に対して非難したり、誹謗中傷することのないように参加校責任者が配慮する。
- 4 受付時に提出されたチェックリストは、大会終了後 1 ヶ月間当専門部にて保管し、その後廃棄処分します。

以 上